



5月に発行した第1号に続き、その後のSSHの取り組みを報告します。今号では、高津SSHの特徴である「地域連携」活動について3件、紹介します。<HR掲示用>

<地域連携> ~ [自然に親しむ理科体験教室] 6月15日(日) ~

第39号

うそち

2008年7月

(4)

大阪府立高津高校



講演前に挨拶する田中校長(上)、プランクトン観察(中)と科学実験(下)の様子

高津高校(田中保和校長)は本年度、文部科学省からSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に指定されたことを受けて、近隣の小中学生との交流を図り、将来を担う

子どもたちの身近な自然環境への関心を育てる取り組みを始めた。SSH地域連携活動の第1回として6月15日、「自然に親しむ理科体験教室」を開

催し、野鳥など大阪城の身近な自然から、環境問題を考えるような自然を慈しむ心を育てるが狙い。体験教室は高津高化学実験室・視聴覚室・生物教室で行

近隣小学生と自然に親しむ理科教室 第1回SSH地域連携活動

参加者84名

味原小学校

5年生 4(保護者 4)
6年生 1(保護者 1) 教員 1

真田山小学校

4年生 31(保護者 17)
5年生 38(保護者 13)
6年生 9(保護者 5)

高津高校

校長, 教頭, 池内, 田中(芳), 澤田, 池島, 中根, 伊豆田

<SS研究グループ生>
化学部, 生物研究部: 9名

<SSコース生> 9名
内容: 9:00~ 9:45

化学実験・生物観察
10:00~10:45

大阪城公園鳥だよりスタッフ
山崎秀樹氏によるご講演

11:00~11:45
生物観察・化学実験

会場: 1階化学講義室,
4階視聴覚教室,
2階生物教室

感想<小学生>

- ・楽しく自由にできて、学生さんたちも優しく、良かったです。
- ・化学の実験、生物の実習、野鳥の会の方の講演、どれもとても楽しかったです。

<保護者>小学校の学習内容とは違うハイレベルな内容で子供にとっては、ワクワクで強い興味をもったようでした。実験器具や顕微鏡というものを使わせて頂き刺激的でした。もともと理科が好きなので今日は楽しかったようでした。ありがとうございました。

<講演会 ~ようこそ先輩~>

6月17日(火) 高津OB「金 智隆先輩」(厚生労働省招へい研究員)による講演

<生徒の声(一例)>

Q. 今日の話はどうでしたか?

A. 知らない語句が多く、わかりづらい部分もあったけど、医者という職業の難しさが少しわかりました。あと、医者に興味を持ちました。

Q. 自分自身、医者という職業をどのように思っていましたか?

A. 人のけがや病気を手術や治療によってなおす職業、人の命を助ける大切な職業だと思っていました。

Q. 今日話を聞いて、医者という職業に対して考え方に変化がありましたか?

A. ただ手術や治療をして、病気をなおすだけでなく、その方法なども作り出す大変な仕事だと思いました。



<NHKテレビ中継 関西ローカル放送~あほやねん! すきやねん! ~>

7月11日(金) 17:20~17:30 NHK総合テレビ 生放送

「SS研究グループ」(化学部, 生物研究部)の紹介がテレビで行われました。

化学部の紹介: これまでの表彰歴について

(全国高校化学グランプリ 大賞, 日本化学会 化学クラブ発表会 奨励賞 ほか) 生放送での化学実験

(①時計反応 ②表面張力 ③アセチレンの燃焼)

生物研究部の紹介: 1977年から「大阪城内濠のプランクトン調査」に取り組んでおり、この5月に環境省より「野生生物保護功労者賞」を授与されたことが紹介されました。

右の写真は、化学部の生放送の様子です。→
下の写真は、生物研究部の盾と賞状の紹介です。



ご意見・ご感想をお待ちしています。

実験機器や研究用書籍類の購入、大学や研究機関と連携した授業、海外の教育機関との共同研究や研修、講演会などに幅広く支援していただける予定です。運営指導委員会の先生方や保護者の方、また地域の方々から広く意見を伺ってよりよいものとしていきたいと考えています。

ご意見・ご感想がありましたら以下の連絡先をお願いします。 (担当: 下川, 中根)

高津高校SSH委員会 電話 06-6761-0336 FAX 06-6761-8153

E-mail: SSH@kozuh.osaka-c.ed.jp